

兵庫県保険医協会北阪神支部 < 2023 年度方針 >

- 1、わが国では国民皆保険の下、全国民が全国民の健康と命を守り、システム構築してきた。しかし、唐突に現れた「マイナ保険証」により、従来の保険システムに障害を引き起こしたことは看過できない。現時点でもマイナ保険証はトラブルが相次ぎ、診療体制に支障が起きている。われわれ保険医協会は「保険証を廃止する」政府方針に反対し、保険医療の根幹である現在の保険証を守り、存続させることを訴える。また保険医療機関に不合理な経営負担を強い、同時に、マイナ保険証の問題を棚上げしたまま強引に導入を強いる「オンライン資格確認義務化」に反対するものである。
- 2、医療・社会保障制度の充実と、公的医療保険制度の拡充・診療報酬制度の矛盾点の改善を目指し、地域間の情報交換や情勢討議、会員・市民と対話する企画の充実をはかる。
- 3、「社会保障・税一体改革」に基づく社会保障切捨て施策の実行を阻止するために、地区医師会など他団体との懇談、交流を推進する。
- 4、老人会や自治会との語り合う会を開催し、予防医学的な健康増進の話とあわせて、医療改悪の実態を住民に広く知らせていく。ワクチンに関しても、エビデンスにもとづく情報を提供する。
- 5、会員拡大は、新規開業医を中心に組織率を上げていき、協会県平均をめざす。また、支部活動活性化のため、医科・歯科若手役員の確保に努める。特に、川西市・猪名川地域での支部幹事発掘に努める。
- 6、在宅医療研究会、臨床研究会などを開催し、地域医療の連携をはかるとともに、医科・歯科一体の活動を強め、共通するテーマで研究会を開催する。
- 7、職員接遇研修会、医療安全管理対策研修会などをスタッフ研修の一環として開催する。
- 8、医院経営問題など、会員が共通するテーマでの会員懇談会を開催し、自由にディスカッションできる場をもつ。
- 9、会員や家族、従業員が気軽に参加できる、文化行事を企画する。
- 10、支部ニュースは、会員投稿コーナーなど内容の工夫もしながら、読まれる交流紙として紙面の充実をめざす。
- 11、社会保障をよくする伊丹の会・同宝塚の会に役員・事務局とも参画していく。
- 12、医療団体として、戦争反対や核兵器廃絶などの平和を守る各地の取り組みに協力する。
- 13、事故となれば重大な健康被害を及ぼす可能性のある原子力発電から自然エネルギーへの転換を求める。
- 14、医療には消費税ゼロ税率を適用することで、医療機関の「損税」問題を解決し、患者負担のない完全な非課税化を求める。

兵庫県保険医協会

北阪神支部 ニュース

2023年11月25日号 No.341

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治

〒 650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル 5 階

☎ (078) 393-1801 FAX (078) 393-1802

http://www.hhk.jp/

北阪神支部第 38 回総会記念講演 感想文

認知症の見分け方 新薬の実態

～今できること～

宝塚市・良元診療所 医師 脇野 耕一



講師の小田陽彦先生（右上）が認知症新薬の有効性と正しい服薬管理、予防策などについて解説

支部は 10 月 21 日に伊丹市立産業振興センターで第 38 回支部総会を開催。2022 年度活動まとめと 23 年度活動方針を承認した。記念講演では、「認知症かなと気になったら」と題し、兵庫県立ひょうごこころの医療センター・認知症疾患医療センター長の小田陽彦先生が講演した。医師・歯科医師や一般市民ら 25 人が参加した。良元診療所の脇野耕一先生の感想文を紹介する。（4 面に 23 年度方針を掲載）

先生のお話はわかりやすく、講演資料も、保存版となるものでした。記憶力は大体高校生の頃がピークでその後はゆっくり低下してくるため、物忘れが「年相応」か「認知症」のはじまりかという問題ですが、示された物差しは、①火の不始末、②車の事故や違反、③薬の飲み忘れの 3 つです。身の危険があり特に要注意な兆候です。ほかに、ひょっとして認知症を疑うものとして、
(次のページに続く)

(1 面からのつづき)

金銭管理のトラブル、冷蔵庫でものが腐る、同じ話や質問を繰り返す、探し物が増えるも例示されました。

次に、「アリセプト」などよく使われている薬の限界は、病態そのものの進行を抑制しないということですが、今年 9 月、日本でも承認された新薬「レカネマブ (商品名: レケンビ点滴静注)」も、現状は、効果は既存薬より劣る上に、既存薬と違い脳出血や脳浮腫の危険が 10% 以上あり「仮にタダでも」お勧めできないとのことでした。

薬に頼れないならどうすればいいか、次の 3 つを示されました。第一は、今飲んでいる薬の見直しとして、特に睡眠薬 / 安定薬。その他に、H2 遮断薬、PL などの第一世代抗ヒスタミン薬、抗コリン作用のある過活動膀胱治療薬などを挙げ、休薬前後の改善を実例で示されました。第二は、デイサービスの効果。第三は、予防について知ることです。「運動」「禁煙」「健康的な食事 (例として緑茶、豆やイソフラボン、カレーは有効)」「節酒」を推奨。残念ながら「認知症のサプリ」は非推奨ということでした。



「年相応」と「認知症」の違いを説明する小田先生

総会議事と懇親会の様子



記念講演後にささやかな懇親会を開催。小田先生も参加し、親睦を深めた



22 年度活動まとめと 23 年度活動方針を承認。情勢分野では薬不足やマイナ保険証問題について話し合われた

☆北阪神支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。



TEL 078-393-1817 / FAX 078-393-1802 e-mail s_oohashi@doc-net.or.jp 担当：大橋まで

兵庫県保険医協会のホームページは

<http://www.hhk.jp/>

* 生涯研修に役立つ各種研究会のご案内、生活を支える共済制度のご紹介、日々の協会活動報告を掲載しております。ぜひご覧ください！



幹事会だより

第 432 回 11 月 2 日 (木) 参加 5 人

◆北阪神支部の会員数と組織率

10/31 現在 医科 368 人 (76%)、歯科 216 人 (67%)

◆情勢と医療運動対策

北阪神支部第 38 回支部総会後のまとめと来年度の研究会について話し合われた。情勢では医薬品不足の問題や、消費税、今後の金利動向について意見が出された。

◆当面の支部活動

新春医院経営研究会を開催予定。

2 月 3 日 (土) 幹事会 15 時～ 研究会 16 時～ 講師：山田 英信 税理士

会場：がんこ宝塚苑

◆次回幹事会

12 月 7 日 (木) 14 時 30 分～「宝塚中央公民館 205 会議室」にて開催予定

◆「保険証を残してください」自治体請願運動

※ 12 月議会に向けて調整中

伊丹市：10/5、日本共産党市会議員団の加柴扶美議員が紹介議員引き受け。紹介議員に。

11/2、公明党の議員団長篠原光宏氏にレクチャー。「党派的に正反対の立場ですので」と断わられた。11/27、フォーラム伊丹 (立憲) と面談予定。

宝塚市：宝塚社保協と連携←寺本早苗議員 (無所属)、大島淡紅子議員 (社民) が紹介議員引き受け。紹介議員に。

川西市：島津先生から西山博大議員 (川西まほろば会) を紹介いただく。

11/15 会派周りにして、レクチャー。

健康情報テレホンサービス 通話料無料 (0120) 979-451



★ 24 時間いつでも 3 分間程度の開業医の手作りの健康・医療情報を放送しています。
★ インターネットでもご覧いただけます。過去の放送分もキーワード検索できます。
URL は、<http://www.hhk.jp/> 左下のバナー「健康情報テレホンサービス」をクリック。

【12 月のテーマ】

月曜日 子どもの弱視
火曜日 薬の副作用
水曜日 高血圧の治療
木曜日 C 型肝炎治療の進歩
金土日 乾癬

★ 祝日は直前の放送日のテーマを放送します。
★ 都合により、テーマの一部を変更する場合があります。
★ 患者さんに配布していただける放送テーマのミニチラシ (A6 サイズ) を作成しています。送付ご希望の医療機関は事務局 ☎ 078-393-1840 まで。